

Ami Ogaeri Quartet Featuring Akiha Nakashima

JAZZ Live in KUSU

おが え り あ み

魚返 明未 Quartet

カルテット

なかしま あきは

Featuring 中島 朱葉

JAZZコンサート

ジャズが紡ぐ物語が、玖珠の時を彩る。



中島 朱葉

なかしま あきは



柳沼 佑育

やぎぬま ゆうすけ



原 健太郎

はら けんたろう

- ◆ 魚返明未(Piano) 玖珠町にルーツを持つ注目の若手ジャズピアニスト
- ◆ 豪華カルテットメンバーによる熱演= 中島朱葉(Alto Sax) / 柳沼佑育(Drums) / 原健太郎(Bass)
- ◆ 玖珠町中央公民館『メルサン キラキラ講座 スペシャルメニュー』

令和8年

2月7日(土)

開演:15時 (開場:14時30分)

場所:くすまちメルサンホール

料金:500円 (全席自由)

曲目: ♪ 枯葉 ♪ いつか王子様が ♪ On the Sunny Side of the Street 他

主催:玖珠町中央公民館 協力:JAZZのまち玖珠実行委員会

お問い合わせ・連絡先 玖珠町中央公民館(くすまちメルサンホール内) Tel:0973-72-0601



ご予約はこちら

予約は上記QRコード
又はメルサンホール・
玖珠町各自治会館まで

魚返 明未 Quartet

Featuring 中島 朱葉

Ami Ogaeri Quartet
Featuring Akiha Nakashima

JAZZ Live in KUSU

JAZZコンサート

令和8年 2月7日(土)

場所:くすまちメルサンホール

出演者プロフィール



おがえり あみ 魚返 明未 (ピアノ)

1991年東京都生まれ。
4歳からピアノを始める。
高校入学の際にモダンジャズ研究部に入学し、在学中にジャズピアニストとして演奏活動を開始。
2015年、ミニアルバム「Steep Slope」をタワーレコード限定リリース。
2017年3月、東京芸術大学音楽学部作曲科を卒業。
2018年に初のフルアルバム「はしごを抱きしめる」(楠井五月b、石若駿ds)、2022年には同年代のギタリスト井上銘とのデュオアルバム「魚返明未&井上銘」、2024年にはアルバム「照らす」(高橋陸b、中村海斗ds)をリリース。
現在、魚返明未トリオ、竹村一哲グループなど様々なバンドでライブ活動を展開している。
また、作曲家としても、コンサートでの作品発表、映画音楽、CMなどさまざまな分野で活動している。
2016年にはファゴット奏者岡崎耕治氏のアルバムにて自作曲「二つの小品」を発表。2018年には、女声、フルート、コントラバス、ピアノのための「Switch On, Switch Off」を、2023年にはピアノ三重奏曲「Impose Nothing」を、東京文化会館小ホールにて初演。
映画音楽の分野では、
「栞」(2018年 監督:榊原有佑)
「truth〜姦しき弔いの果て〜」(2022年 監督:堤幸彦)
「僕らはみんな生きている」(2022年 監督:金子智明)
「白鍵と黒鍵の間に」(2023年 監督:富永昌敬)
の音楽を担当。これまでにクラシックピアノを佐藤恵美氏、作曲を山口博史、森垣桂一、鈴木輝昭各氏に師事。



なかしま あきは 中島 朱葉 (アルトサックス)

1992年生まれ、和歌山県出身
中学で吹奏楽部に入学しアルトサックスを始める。映画「SWING GIRLS」を見てジャズに憧れ、一年で退部しジャズの勉強を始める。チャーリーパーカー、ビルエヴァンス、ウェインショーター、アートレイキー等から多大な影響を受ける。
中学3年生頃から関西地方を中心にライブ活動を開始。
2012年、パークリー音楽大学へ学費全額免除生として入学。二年間在学し、帰国。東京を拠点に演奏活動を始める。
自己のカルテットをはじめ、石若駿(dr)率いる「Answer To Remember」や、若手の精鋭達と結成したバンド「Push」での活動の他、日野皓正(tp)、土岐英史(as)、椎名豊(p)、大西順子(p)、海野雅威(p)、ケイ赤城(p)、北川潔(b)、井上陽介(b)、Gene Jackson(dr)などの様々な著名ミュージシャンとの共演も重ねている。
2021年6月、初リーダーアルバム「Looking For Jupiter」をリリース。
繊細な感性と卓越したリズム感、ジャズの伝統に根ざした歌心溢れるプレイは、ベテランから若手まで世代を超えた共演者から高く評価されている。現在のジャズシーンで最も注目を集める若手ジャズミュージシャンである。



やぎぬま ゆうすけ 柳沼 佑育 (ドラム)

1992年福島県出身。
2011年に尚美学園大学入学後、木村由紀夫氏に師事。
Philly Joe Jones等のジャズドラマーに影響を受け、ビバップ、ハードバップスタイルのドラムに特に傾倒する。在学時より様々なミュージシャンとの共演を重ね、卒業後は、同世代からベテランまで、多数のミュージシャンと共演。現在、様々なバンドで都内を中心に活動している。



はら けんたろう 原 健太郎 (ベース)

1975年大分県玖珠町生まれ。
15歳からロックバンドでエレキベースをはじめ、熊本学園大学のビッグバンドサークルに入学しジャズの洗礼を受ける。プロベシスト村上明氏に師事し、熊本市内でジャムセッションに明け暮れる。現在は、玖珠町役場の職員をしながら「ミドリイロ」、「Clear, Gee!」等のユニットを中心に大分県内外で演奏活動を展開している。スイングな味わいを目指す「JAZZ米」の生産者知られ、多岐にわたり活躍する。